



4月号 令和3年4月7日発行

窪田小だより

横浜市都筑区窪田南町694番地 [Tel.911-0149]

[<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/>]



自分とは異なる他者と交わる場としての学校

校長 伊藤 智樹

お子様のご入学・ご進級おめでとうございます。64名の1年生が入学し全校児童数337名で令和3年度がスタートしました。教職員も新たなメンバーが着任しました。教職員一同、気持ちを一つにして新しいスタートをきりたいと考えています。新型コロナウイルスへの対応ですが、市などのガイドラインにそった感染対策を行いながら教育活動を実施したいと考えます。感染状況によっては昨年度のように行事の見直し・日程変更などが生じる可能性があります。その都度メール配信や学校HP等でお知らせしていきたいと思ひます。先が見通せない状況ではありますが、子どもたちの健康・安全を第一に考え学校として対応して参ります。



学ぶということは、すぐにその場で役立つ技術や知識を教えてもらうことではありません。すでにある知識であれば、スマホやパソコンでインターネットにアクセスすれば、知ることができます。でも、それは単なる情報の検索であり、すでにある情報をコピーして増量しただけです。本当の学び、真の「教養」を獲得するとは、自分のそれまでの考え方を乗り越えていくことであり、それには**自分とは異なる他者と交わる場が必要**なのです。

今、グローバル化の進展とデジタル革新とも呼ばれる情報技術の急速な発展によって、社会はかつてない大きな変動のさなかにあります。～略～ インターネットで繋がれたサイバー空間の情報量は、とても全部を見渡すことはできないほどに膨大です。その中で人間の視野が、知らず知らずのうちに狭まってしまうことは、非常に危険な傾向です。自分と同じ意見ばかりを探しだし、考え方や感じ方が近い人々とのコミュニケーションに限定されてしまうのです。これは、**異質な他者への感性や想像力を鈍らせます。**

【令和2年度 東京大学入学式総長式辞から引用】

今年是新学習指導要領実施2年目です。プログラミング教育や教科としての外国語科も実践してきました。どのような新しい内容が導入されたとしても自分の考えはもちろんのこと他の人の考え方を聞き議論をしてよりよいものを目指すことは現代社会において重要なことです。小学校はその基礎を培う場だと考えます。新型コロナウイルスは、学校の他者との交わり場の機能をも弱めてしまうのではと感じることがあります。このような時だからこそ私たち教職員はできることをしっかりと積み重ねていきたいと思ひます。

時代の変化に対応した教育内容を取り入れながらも、本校の伝統を守り、地域を核にした教育活動を大切にしていきたいと考えています。そして学校教育目標でもある『つくろう明日 わたしはチャレンジャー』の子どもをこれからも育てていきたいと思ひます。どうぞ変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

窪田小学校の学校教育目標

「つくろう明日 わたしはチャレンジャー」

- 【知】自ら考え、よりよく解決する力を育みます。
- 【徳】自分を大切に、人を思いやる心を育みます。
- 【体・徳】豊かな体験を通して、健やかな心と体を育みます。
- 【公】つながりを大切に、よりよく生きようとする力を育みます。
- 【開】コミュニケーションを通して互いの違いを理解し、ともに生きていく力を育みます。

